

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

講習会のお知らせ

■ 救急法基礎講習：1日間コース

心肺蘇生やAEDを用いた除細動などが学べます

2 / 22 (日)	日赤富山県支部	9:00~16:30
------------	---------	------------

■ 幼児安全法支援員養成講習：2日間コース

子どもに起こりやすい事故の予防と手当、子どもの病気への対応などが学べます

3 / 7 (土)~8 (日)	日赤富山県支部	9:00~17:00
-----------------	---------	------------

■ 救急法救急員養成講習：2日間コース

急病の手当、けがの手当、搬送などが学べます

2 / 23 (月)~24 (火)	日赤富山県支部	9:00~16:30
-------------------	---------	------------

● 資格継続研修

認定証が交付されてから2年経過した方が対象です。但し、認定証の有効期限が切れる前に受講してください。受講されると現在お持ちの認定証の有効期限が3年延長されます。

救急法▶3 / 21 (土)	日赤富山県支部	13:00~17:00
----------------	---------	-------------

受講のお申し込みやお問い合わせ先 日本赤十字社富山県支部 事業推進課 TEL 076-441-4885 <http://www.toyama.jrc.or.jp/> (ホームページから申し込みができます)

街頭献血のお知らせ

※お昼時間は受付を休みます。
★日程は都合により変更することがあります。



2月

1日(日)	イオンモール高岡 アル・プラザ小杉	10:00~16:30 10:00~16:00
8日(日)	ファボーレ	10:00~16:30
11日(水)	イオンモール高岡	10:00~16:30
15日(日)	ファボーレ アピタ砺波店	10:00~16:30 10:00~16:00
21日(土)	入善ラーメンまつり	10:00~15:00
22日(日)	イオンモール高岡 アピタ魚津店	10:00~16:30 10:00~16:00

3月

1日(日)	ファボーレ	10:00~16:30
5日(木)	ア・ミュー	10:00~16:00
8日(日)	イオンモール高岡	10:00~16:30
15日(日)	ファボーレ アピタ富山東店	10:00~16:30 9:00~16:30
18日(水)	射水市役所新湊庁舎	9:00~16:00
21日(土)	ファボーレ	10:00~16:30
22日(日)	ハッピータウン氷見店	9:30~16:00
29日(日)	イオンモール高岡	10:00~16:30

お願い 400mL献血の推進について

血液は、たとえ同じ血液型でも微妙に異なるため、輸血を受ける患者さんにとって、なるべく少人数の献血者の血液を使用するほうが副作用発生のリスク軽減につながります。

現在、県内の医療機関からは95%以上が400mL献血による輸血用血液の要請となっているため、街頭及び一部事業所の献血会場では200mL献血を抑制させていただいています。

皆さま方にはご理解いただき、今後とも400mL献血にご協力いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先 富山県赤十字血液センター TEL 076-451-5555 <http://www.toyama.bc.jrc.or.jp>

赤十字『活動資金』『義援金』『救援金』の流れ

みなさまから、『活動資金』と『義援金』と『救援金』の違いが分からない」といったご質問をお寄せいただくことがあります。『赤十字に出した500円』がどのように使われているか、ご紹介いたします。

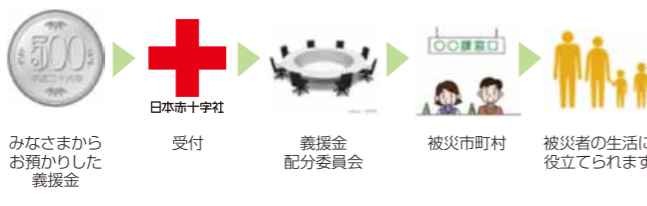
赤十字の『活動資金』

日本赤十字社の活動は、みなさまからいただく『活動資金』（社費、寄付金）によって支えられています。



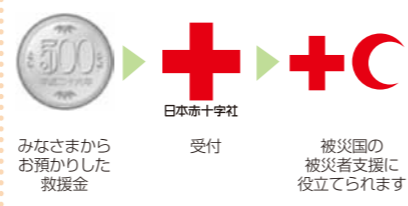
国内の『義援金』

国内で災害が発生した際にご協力いただく『義援金』は、義援金配分委員会で定める配分基準に従って被災者のみなさまに届けられます。



海外への『救援金』

世界各国の赤十字・赤新月社を通じて被災国に寄せられる『救援金』は、被災国の赤十字・赤新月社が行う被災者支援活動に役立てられます。



「義援金」「救援金」からは、受付手数料などの事務手数料は一切いただいておりません。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字とやま

災害に備えて

災害発生時における救護活動は、赤十字の最も重要な事業の一つです



平成26年11月22日(土)22時8分、長野県北部を震源とするマグニチュード6.7の地震が発生。東日本大震災から3年8ヵ月、緊急地震速報の報知音が県内各地で鳴り響きました。日本赤十字社富山県支部では、地震や台風、火山噴火などの災害が発生したときに備え、富山赤十字病院の医師、看護師などによる救護班を常備し、救護資機材の整備、救援物資の備蓄を行っています。

5月、県内の赤十字施設(支部、病院、血液センター、看護専門学校)の職員と学生およそ130名は、救護資機材の取り扱い方法の確認やトリアージ、救護所での応急処置など実践的な救護訓練を行っています。秋には、県や市町村主催の防災訓練や空港消火救難訓練などに参加して県内各機関との連携を深め、複数県に跨る大規模災害が発生したときには日本赤十字社のネットワークを生かした救

護にあたるため、第3ブロック(富山、石川、福井、岐阜、長野、静岡、愛知、三重)合同訓練を行っています。また、富山県の災害拠点病院である赤十字病院では、地域住民のご協力を得て、災害が発生したときの院内の動きやけがの受け入れ体制を確認する訓練を行っています。

災害救護は、日本赤十字社法に明示された赤十字の最も重要な事業の一つであり、災害救助法や災害対策基本法などでもその使命を課せられています。日頃からの備えが、緊急時に生かされます。



水の事故防止

赤十字水上安全法 指導員ボランティア養成
富山では12年ぶりの開催
子供たちへの着衣泳講習の普及に期待



日本赤十字社は、赤十字の理念と使命に基づき、不慮の事故や急病に対する応急手当ての方法を事業として普及してきました。

1926年(大正15年)に始まった赤十字救急法の前身である「衛生講習会」から、1933年(昭和8年)に開始された水上安全法(当時は「水上救助法」といいました)、そして現在では、健康生活支援講習、幼児安全法、雪上安全法まで5つの講習を行っています。

こうした安全講習は、日赤の職員に限らず、多くのボランティア指導員が普及を支えています。

富山県支部には、職員以外の一般のボランティア指導員が82人、そのうち水上安全法に14人が登録されており、県内各地域での講習依頼に応えられるように努めています。

今回、1月23日から2月8日までの5日間(30時間)で行なわれる「赤十字水上安全法指導員I養成講習」に、赤十字水上安全法救助員と同救急法救急員の資格を取得済みの県内の10名の方が受講しており、認定後の水上安全法普及に大いに期待がもたれています。

指導員養成講習では、基本的な泳力や救助法はもちろん、受講者に対して、安全に、分かりやすく、しっかりと伝えられる知識と技術を研修します。

近年、小学校等から、児童の水の事故防止を目的として、着衣のままプールに入って、動きにくさを体験したり、身近にあるものを利用して体を浮かせて安全を確保する方法を学んだりする「着衣泳講習」の依頼が寄せられています。

今回養成される10人が加わり、より多くの学校の依頼に応えられるようボランティア指導員の皆さんの健闘に期待しています。

各学校で開催される水上安全講習に指導員を派遣します。

お問い合わせ先

日本赤十字社富山県支部
事業推進課
TEL 076-441-4885

LOVE LINK 献血2014

富山県赤十字血液センターでは、11月30日(日)に複数回献血クラブ会員の募集イベントを開催しました。



このイベントは、血液が不足した際にメールで献血をお願いする複数回献血クラブ「献血LOVEメールクラブ」の会員募集と若い方を中心とした献血の呼びかけを目的として、イオンモール高岡を会場に開催しました。

イベントでは、富山県ご当地アイドルグループ「ビエノロッジ」のステージや富山サンダーバズの「チアティーズ」によるパフォーマンスのほか、司会進行役のピコちゃんによるバルーンアート作り、献血推進キャラクター「けんけつちゃん」とのじゃんけん大会など盛りだくさんの1日となりました。

当日は、同会場でも献血も行われ、165名の方々に献血のご協力をいただきました。

富山県赤十字血液センターでは、今後もより安全な輸血用血液を安定的に患者さんにお届けするため、このようなイベントを通して献血へのご理解とご協力をお願いしてまいります。

お知らせ はたちの献血キャンペーン 2015実施中

富山県赤十字血液センターでは、1月1日(木)～2月28日(土)まで「はたちの献血キャンペーン2015」を実施します。

今年はフィギュアスケートの羽生結弦選手をイメージキャラクターに採用し、献血者が減少しがちな冬期において、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心として幅広い年齢層の方々に、献血に対するご理解とご協力をお願いしています。

皆様のこころ温まる献血へのご協力をお待ちしております。



入院うるおい生活事業

富山赤十字病院では、11月28日(金)入院うるおい生活事業を行いました。



入院患者さんが病院での生活をおくるうえで少しでもこころに潤いを持ち、また、病院にいらっしゃる方々には安らぎと癒しを感じていただけるように、富山赤十字病院では毎年、入院うるおい生活事業を行っています。

ミニコンサートを企画した今回は、富山商業高等学校吹奏楽部員46名による吹奏楽の演奏が披露されました。

世界中のディズニー・テーマパークでおなじみの「イツ・ア・スモールワールド」やクリスマスソング「ジングルベル」など、歌やダンスを交えた演奏には、入院患者さんやご家族、その他面会などで訪れた方々が大勢立ち寄り、生徒たちが奏でる音楽を真剣に聴き入る姿が見受けられました。

会場では、曲に合わせて手拍子を打つ方、歌詞をくちざさむ方など、みなさんに楽しいひと時を過ごしていただけたようです。高校生とは思えない迫力のある演奏には、職員も足を止めその音色に聞き入っていました。

終始盛り上がりを見せたミニコンサートは、アンコールの2曲が終了した後もあたたかい拍手が鳴り響いていました。



富山県里親制度説明会 in おやべを開催



里親制度とは、

実親が子どもを育てられるようになるまでの間や子どもが自立するまでの間、家庭で養育を行う制度です
10月4日(日)、富山県里親支援機関事務局(富山県立乳児院内)は、里親制度の普及・啓発を目的に、富山県里親制度説明会を開催しました。

児童相談所職員からの制度説明後、現在里親として子どもを育てている方が、「子どもを受け入れるとき、大人の都合で考えてはいけません。今やれること、子どものためにできることをやりましょう」と、里親になった時の思いや家族として子どもと一緒に生活することの喜び、考え方を会場の皆さんに向け語りかけてくださいました。

参加者からは、「里親と里子が実の親子以上の関係を築いていられ、大変感動しました」「支援を必要とする子どもたちに対して、今、自分ができることについていろいろ考えさせられました」など、制度への理解を深められた感想が寄せられました。

今回のような説明会を通じて、里親になる方が増えていき、一人でも多くの子どもたちが、里親の元で家庭生活が送れることを願っています。

学校祭『いとすぎ祭』を開催



四四三名の方に会場いただきました

今年のテーマは、『未来のために今、赤十字を再発見』
8つの赤十字事業を取り上げました

9月26日(金)・27日(土)の両日、富山赤十字看護専門学校において学校祭を開催しました。

今年の学校祭では赤十字事業を取り上げ、赤十字の発祥についての寸劇披露や一次救命処置・包帯法の実演、この日のために作成した献血を行うまでの流れを追ったパワーポイント上映を行いました。

地域の皆さまや病院・学校の関係者に支えられて無事に開催することができ、また、ご来場いただいた方からは「赤十字活動に感動した」などのご感想をいただき、達成感と喜びを得ることができました。

なお、学校祭での収益金151,011円は、東日本大震災義援金として日本赤十字社富山県支部を通じ寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。